

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ブライダル知識 I A		
必修選択	必修	(学則表記)	ブライダル知識 I A		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ブライダルヘアメイク & ドレス科	1	15
使用教材	ブライダルコーディネーターテキストスタンダード			出版社	公益社団法人日本ブライダル文化振興協会

科目の基礎情報②

授業のねらい	現場での実践に活かせるブライダルの基礎知識・用語・業界特性を理解・習得する。				
到達目標	ブライダルコーディネート技能検定 3 級合格を目指す。 ブライダルの基礎知識、用語を理解し使いこなせるようになる。				
評価基準	テスト：60% 小テスト：20% 授業態度：20%				
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者				
関連資格	ブライダルコーディネート技能検定 3 級				
関連科目	ブライダル知識 I B・ブライダル知識 II AB ホテルプランニング AB・オリジナルプランニング AB、ブライダルプランニング AB				
備考	原則、この科目はオンデマンド型遠隔授業形式にて実施する。				
担当教員	大川 綺萌			実務経験	○
実務内容	ウェディングプランナーとして勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	ブライダルコーディネート技能検定について理解する ブライダルコーディネーターの定義を理解する
2	結婚の定義	結婚の法的意義、婚姻の要件について理解する
3	結婚の定義	結婚に関する言葉とその定義、結婚の類語を知る
4	日本の結婚式 歴史と文化	日本の結婚の歴史について学ぶ
5	日本の結婚式 歴史と文化	日本の結婚の歴史について学ぶ

6	日本の結婚式 歴史と文化	日本の結婚の歴史について学ぶ 宗教と結婚式について知る
7	日本の結婚式 歴史と文化	結婚に関する風習・いわれについて学ぶ
8	欧米の結婚式 歴史と文化	欧米の結婚式の歴史について知る
9	欧米の結婚式 歴史と文化	欧米の結婚式の歴史について知る
10	欧米の結婚式 歴史と文化	欧米の結婚式について知る
11	欧米の結婚式 歴史と文化	欧米の結婚式について知る
12	ブライダルビジネス ブライダル市場	ブライダル市場規模、市場規模の推移について把握する
13	ブライダル業種	ブライダル関連業種について理解する
14	テスト	前期内容のテストを実施する
15	総合	テストの振り返りとまとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ブライダル知識 I B		
必修選択	必修	(学則表記)	ブライダル知識 I B		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ブライダルヘアメイク & ドレス科	1	15
使用教材	ブライダルコーディネーターテキストスタンダード			出版社	公益社団法人日本ブライダル文化振興協会

科目の基礎情報②

授業のねらい	現場での実践に活かせるブライダルの基礎知識・用語・業界特性を理解・習得する。				
到達目標	ブライダルコーディネート技能検定 3 級合格を目指す。 ブライダルの基礎知識、用語を理解し使いこなせるようになる。				
評価基準	テスト：60% 小テスト：20% 授業態度：20%				
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者				
関連資格	ブライダルコーディネート技能検定 3 級				
関連科目	ブライダル知識 I A・ブライダル知識 II AB ホテルプランニング AB・オリジナルプランニング AB・ブライダルプランニング AB				
備考	原則、この科目はオンデマンド型遠隔授業形式にて実施する。				
担当教員	大川 綺萌			実務経験	○
実務内容	ウェディングプランナーとして勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	前期 I A 振り返り ブライダル関連業種	前期で学んだ I A の内容の振り返り ブライダル関連業種について理解する
2	エリア特性 ブライダル業界の 1 年	結婚における地域特有の風習について学ぶ ブライダル業界の 1 年の流れと集客システムについて理解する
3	見合いと婚約	見合い、婚約、婚約記念品について学ぶ
4	見合いと婚約	見合い、婚約、婚約記念品について学ぶ
5	結納・婚約式	結納について学ぶ

6	結納・婚約式	結納について学ぶ 婚約式、婚約披露パーティー、両家顔合わせについて学ぶ
7	ブライダル準備 キリスト教式	結婚までのスケジュールを理解する キリスト教式（カトリックとプロテスタント）について学ぶ
8	神前式	神前式の歴史と現状について知る 神前式式次第①
9	神前式	神前式式次第②
10	仏前式 挙式スタイル小テスト	仏前式の歴史と現状、仏前式式次第について知る キリスト教式・神前式・仏前式の挙式スタイルについての小テスト
11	人前式・シビルマリッジ	人前式、シビルマリッジの式次第について学ぶ
12	披露宴	披露宴のスタイル、披露宴の時間帯について学ぶ
13	披露宴の演出プラン	披露宴の進行について理解する
14	後期テスト	後期内容のテスト実施
15	総合授業	テストの振り返りとまとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ブライダルビジネスマナー		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルビジネスマナー		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ブライダルヘアメイク & ドレス科	2	30
使用教材	サービス接客検定 3 級公式テキスト サービス接客検定実問題集 3 級			出版社	早稲田教育出版

科目の基礎情報②

授業のねらい	敬語の使い方や履歴書の書き方、ビジネス文書の書き方など、社会人としての考え方やマナーを身につける。		
到達目標	サービス接客検定 3 級に合格する。 基本的なビジネス文書を作成することができる。		
評価基準	小テスト 3 0 % ・ 提出物 3 0 % ・ 検定合格 4 0 %		
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者		
関連資格	サービス接客検定 3 級		
関連科目	なし		
備考	原則、この科目はオンデマンド型遠隔授業形式にて実施する。		
担当教員	吉江 妙子	実務経験	○
実務内容	団体及び個人、美容関係者に対してのセミナー講師		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ビジネスマナーとは	サービススタッフに必要とされる要件について 身だしなみについて
2	サービススタッフの 資質・専門・一般知識	サービス業界で求められている敬語、話し方の重要性を学ぶ
3	対人技能	対人技能、エレベーターでの案内、席次について学ぶ
4	敬語	敬語について学ぶ

5	実務技能	実務的な技能を学ぶ
6	慶事・弔事のマナー	社交業務について学ぶ
7	接遇者としての知識	接遇者について学ぶ
8	検定対策	過去問題より検定対策
9	社外文書	社外文書の書き方を学ぶ
10	コミュニケーション能力	人間関係の構築・社内・社外でのコミュニケーション能力の高め方
11	電話対応	電話対応の方法について学ぶ
12	名刺交換・お茶出し	名刺交換の方法、お茶の出し方を学ぶ
13	面接のマナー	面接試験のマナーについて学ぶ
14	受付から誘導まで	受付から誘導までの方法を学ぶ
15	総合学習	総まとめ

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	パーソナルカラー		
必修選択	選択	(学則表記)	パーソナルカラー		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ブライダルヘアメイク＆ドレス科	2	30
使用教材	パーソナルカラーコーディネート検定公式テキスト パーソナルカラーコーディネート公式ワークブック		出版社	クリエスクール	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	色に関する知識・法則・技法を理論的かつ実践的に身に付ける				
到達目標	パーソナルカラーコーディネート検定に合格する 様々なブライダルシーンの実践において色に対する提案力・コーディネート力を発揮できる人材になる				
評価基準	小テスト40％・提出物30％・授業態度30％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	パーソナルカラーコーディネート検定				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目はオンデマンド型遠隔授業形式にて実施する。				
担当教員	大越 まさみ		実務経験	○	
実務内容	アパレル通信サイトにてカラーコーディネートやスタイリング業務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	パーソナルカラーについて 色の性質①	・ パーソナルカラーの重要性を知る ・ 色の持つ性質や特徴を理解する
2	色の性質② 色の心理的効果	・ 有彩色と無彩色を理解する ・ 色の三属性を理解する ・ 色の心理的効果を理解する
3	色のトーン①	・ トーンごとに持つ色のイメージを学ぶ
4	配色①	・ 配色の基礎を学び、配色構成を理解する ・ 色相環・トーンを理解した上で配色を考える ・ イメージ配色の重要性を理解する

5	配色② 光の三要素 眼のしくみ	・和装の配色方法を学ぶ ・色がなぜ見えるのかを学ぶ ・三要素を理解した上で、眼のしくみについて学ぶ
6	混色 対比・補色対比	・加法混色と減法混色を学ぶ ・対比・補色対比について学ぶ
7	色のトーン②	・トーンの4つのグループの特徴を理解する ・メイク・ヘアカラーを相手がどのタイプか見分けアドバイスができる練習をする
8	色のトーン③	・ネイルを相手がどのタイプか見分けアドバイスができる練習をする ・ドレス・ブーケを相手がどのタイプか見分けアドバイスができる練習をする
9	パーソナルカラー判定① 慣用色名	・パーソナルカラー判定の流れを知る ・4パターンファッションについて理解する ・慣用色名について学ぶ
10	検定対策①	検定対策
11	検定対策②	検定対策
12	検定対策③	検定対策
13	パーソナルカラー判定②	自分がどのグループか判定を行い、似合う色をチェックする
14	パーソナルカラー判定③	各シーズンの特徴を学びファッションのアドバイスを実践する
15	総合学習	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ブライダルジュエリー		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルジュエリー		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	1	15
使用教材	なし			出版社	なし

科目の基礎情報②

授業のねらい	ブライダルに関わるジュエリーの基礎知識を学ぶ				
到達目標	ブライダルジュエリーの基礎知識、業界の動向を学び、お客様に幅広い提案の出来る人材を目指す				
評価基準	課題 60% テスト 30% 提出期限 10%				
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目はオンデマンド型遠隔授業形式にて実施する				
担当教員	春藤 聡子			実務経験	○
実務内容	ジュエリーショップ勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入	ブライダルジュエリーの知識の必要性 ブライダルジュエリーの歴史
2	ブライダルジュエリー基礎①	ジュエリーコーディネーターの役割
3	ブライダルジュエリー基礎②	ブライダルジュエリーの基礎知識を学ぶ
4	五大輝石①ダイヤモンド	ブライダルジュエリー（ダイヤモンド）の基礎知識を学ぶ
5	五大輝石②ルビー・サファイア	ブライダルジュエリー（ルビー・サファイア）の基礎知識を学ぶ
6	五大輝石③エメラルド・真珠	ブライダルジュエリー（エメラルド・真珠）の基礎知識を学ぶ

7	接客知識①	指輪のサイズの調べ方 ジュエリーメンテナンス方法
8	接客知識②	ジュエリーのコーディネート基礎
9	接客知識③	指輪、ネックレス、イヤリングのコーディネート
10	ブライダルジュエリーブランドについて（国内）	ブライダルジュエリーブランドの基礎知識を学ぶ（国内ブランド）
11	ブライダルジュエリーブランドについて（海外）	ブライダルジュエリーブランドの基礎知識を学ぶ（海外ブランド）
12	ジュエリーボックスのラッピングについて	ジュエリーボックスのラッピングの種類とラッピング方法
13	婚約指輪について	プロポーズのと指輪の繋がり歴史、婚約指輪のデザイン
14	前期試験	前期筆記試験を行う
15	総まとめ	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ブライダルヘアアレンジ I		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルヘアアレンジ I		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	1	30
使用教材	電子版ヘアアレンジテキスト、ヘア道具一式 ホットカーラー、ヘアアイロン、ドライヤー			出版社	三幸学園

科目の基礎情報②

授業のねらい	応用ができるようにヘアアレンジの基礎技術を習得する		
到達目標	ブライダルの現場で役に立つヘアアレンジの基礎的な技術ができる		
評価基準	実技テスト 30% 筆記テスト 30% 小テスト(筆記実技・課題提出含む)20% 授業態度 20%		
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者		
関連資格	無		
関連科目	無		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	林 秀美	実務経験	○
実務内容	ブライダルヘアメイクとして、TV 局ヘアメイク、撮影ヘアメイク、ショーヘアメイクを担当		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション ・ブラッシング・ブロッキング	オリエンテーション 教材配布と説明・ブラッシングの基本を知る・道具の名称・用途の説明
2	黒ゴム結び ・ポニーテール	ゴムの結び方を習得する 10 ブロック導入
3	ポニーテール	ブロッキング・ポニーテールのテストを実施する
4	編み込み①	表編み込み、裏編み込みの技術を習得する、片編み、フィッシュボーン、四つ編み、丸三つ編み

5	編み込み② (小テスト)	編み込み小テスト
6	アイロンスタイリング	アイロンの巻き方とバリエーションを学ぶ
7	ピンニング①	ピンニングの留め方とバリエーションを学ぶ (ハーフアップでピンニングと巻きをチェック)
8	ピンニング② (小テスト)	学んだ技術の小テスト (ハーフアップ)
9	ホットカーラー①	ホットカーラーの巻き方を実践する
10	ホットカーラー②	ホットカーラー反復練習を行う
11	ホットカーラー③・逆毛導入	ホットカーラー反復練習を行う・逆毛の立て方を説明 (ボリューム逆毛+つなぎ逆毛)
12	ホットカーラー④	ホットカーラー反復練習を行う&スクリュー逆毛でポニーテールからのカールアップ
13	ホットカーラー⑤ (小テスト)	ホットカーラー全頭 20 分を実施する&テストスタイル作成&練習
14	実技テスト・筆記テスト	前期に行った授業の全範囲で実技テストを実施する 前期に行った授業の全範囲で筆記テスト作成し実施する
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ブライダルヘアアレンジⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルヘアアレンジⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	1	30
使用教材	電子版ヘアアレンジテキスト、ヘア道具一式、ホットカーラー、ヘアアイロン		出版社	三幸学園	

科目の基礎情報②

授業のねらい	応用ができるようにヘアアレンジの基礎技術を習得する		
到達目標	ヘアアレジの基礎力を反復練習でしっかりと定着させ、ヘアアレンジの応用ができる		
評価基準	実技テスト 40% 小テスト(筆記実技・課題提出含む)40% 授業態度 20%		
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者		
関連資格	無		
関連科目	無		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	林 秀美	実務経験	○
実務内容	ブライダルヘアメイクとして、TV 局ヘアメイク、撮影ヘアメイク、ショーヘアメイクを担当		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション カールアップ①	カールスタイルのアレンジ・構成を学ぶ ※サイドアップ含む
2	カールアップ②	同上
3	カールアップ (小テスト)	巻きを含めずカールスタイルのテスト
4	カールアップ①	逆毛の立て方、スタイル構成を学ぶ ※ベーシックなトップカールアップ or リーゼント (ウィッグ)

5	カールアップ②	巻きを含めずカールスタイルのテスト
6	重ね夜会巻き①	夜会巻きのスタイル構成と面の出し方を学ぶ
7	重ね夜会巻き②	夜会巻きにおけるピンニングの留め方とバリエーションを学ぶ
8	本夜会巻き①	本夜会巻きのスタイルを展開図からしっかり学ぶ
9	本夜会巻き②	本夜会巻きのスタイルをウィッグで練習
10	実技テスト	重ね夜会か本夜会のどちらかでテストを行う
11	相モデル	今まで学んだスタイル（カールスタイル・面スタイル）を相モデルで実践①
12	相モデル	今まで学んだスタイル（カールスタイル・面スタイル）を相モデルで実践②
13	相モデル	今まで学んだスタイル（カールスタイル・面スタイル）を相モデルで実践③
14	相モデル	今まで学んだスタイル（カールスタイル・面スタイル）を相モデルで実践④
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ベーシックメイク A		
必修選択	選択	(学則表記)	ベーシックメイク A		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	2	45
使用教材	電子版 BASIC ポイントメイクアップリムーバー・クレンジング・ ローションⅠ・ローションⅡ・エマルジョン・エッセンス・下地・コ ントロールカラー			出版社	三幸学園

科目の基礎情報②

授業のねらい	メイクの基礎知識を学び、基礎的なメイクアップ技術を身につける				
到達目標	メイク道具や化粧品についてしっかり把握した状態で実習を行うことができる 基本的なメイクを時間内に仕上げるができる				
評価基準	筆記テスト 30%、実技テスト 30%、小テスト（実技・筆記・課題提出含む）20%、授業態度 20%				
認定条件	出席が総時間数の 3 分の 2 以上あるもの成績評価が 2 以上のもの				
関連資格	日本トータルメイクアップ協会 ベーシックメイク検定				
関連科目	無				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	伊藤 亜美 他 1 名			実務経験	○
実務内容	資生堂化粧品販売株式会社ビューティーカウンセラー、資生堂プロフェッショナル株式会社美容インストラクター、フリーへ転身。ヘアメイク、各種講習会、撮影、イベント				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	オリエンテーション教材のチェック 基本セッティング&実践について学ぶ
2	『骨格と表情筋』 クレンジングについて学ぶ	『骨格と表情筋』顔の名称を覚える 手指消毒～リクレンジングまでの理論と方法を学ぶ
3	スキンケアについて学ぶ	前回の復習 スキンケアの種類、方法などを学ぶ実際に相モデルで行う
4	スキンケア実技・筆記小テスト① ファンデーション導入	スキンケアの基礎知識とともにこれまでの復習を兼ねた小テストの実施 ファンデーションについて説明、デモンストレーション、実践

5	アイメイクについて学ぶ①	今まで学んだ箇の復習ファンデーションについて復習 アイメイクについて学ぶ（アイシャドウ縦グラデーション実践、アイライン、ビューラー、マスカラのテクニック）
6	アイメイクについて学ぶ②	前回の復習 アイメイクについて学ぶ（アイシャドウ横グラデーション実践、アイライン、ビューラー、マスカラのテクニック）
7	アイブロウについて学ぶ①	前回の復習 基本の眉のプロポーションについて学ぶ&セルフ実技実践使用道具など
8	アイブロウについて学ぶ②	前回の復習 アイブロウ相モデルで実践。左右対称に行い。形の違いを理解する
9	チーク・リップ ハイ&ローライトについて学ぶ	前回の復習 骨格を意識したメイクを学ぶ（3 パターン行う）
10	フルメイクの練習①	【テストに向けて】 タイムトライアル（45 分） ・ 時間内にメイクができるようになる。 ・ 技術を向上させる（左右対称、自然な仕上がりなど）反復練習を行い技術力を上げる
11	フルメイクの練習②	同上
12	フルメイクの練習③ 筆記小テスト②	同上
13	フルメイクの練習④	同上
14	実技テスト・筆記テスト メイク検定ベーシックについて	タイムトライアルでフルメイクの実技テスト前期に学んだ範囲すべての筆記テスト メイク検定の説明
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	ベーシックメイク B		
必修選択	選択	(学則表記)	ベーシックメイク B		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ブライダルヘアメイク & ドレス科	2	45
使用教材	電子版 BASIC ポイントメイクアップリムーバー・クレンジング・ ローションⅠ・ローションⅡ・エマルジョン・エッセンス・下地・コ ントロールカ			出版社	三幸学園
科目の基礎情報②					
授業のねらい	メイクの基礎知識を学び、基礎的なメイクアップ技術を身につける				
到達目標	メイク道具や化粧品についてしっかり把握した状態で実習を行うことができる 基本的なメイクを時間内に仕上げるができる				
評価基準	筆記テスト 30%、実技テスト 30%、小テスト（実技・筆記・課題提出含む）20%、授業態度 20%				
認定条件	出席が総時間数の 3 分の 2 以上あるもの成績評価が 2 以上のもの				
関連資格	日本トータルメイクアップ協会 ベーシックメイク検定				
関連科目	無				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	伊藤 亜美 他 1 名			実務経験	○
実務内容	資生堂化粧品販売株式会社ビューティーカウンセラー、資生堂プロフェッショナル株式会社美容インストラクター、フリーへ転身。ヘアメイク、各種講習会、撮影、イベント				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	メイク検定ベーシックについて ソフト理論を学ぶ	オリエンテーション 検定について、プロポーションについてレクチャー・相モデルでポイントメイク
2	ソフトの練習	相モデルでフルメイク練習（タイムトライアル制限時間内にメイクをする）
3	シャープ理論を学ぶ ・小テスト	レクチャー・相モデルでポイントメイク筆記に向けて小テスト
4	シャープの練習	相モデルでフルメイク練習（タイムトライアル制限時間内にメイクをする）

5	ソフト OR シャープの練習①	検定に向けて実践練習 タイムトライアル制限時間内にメイクをする
6	ソフト OR シャープの練習②	同上
7	実技・テスト(実技筆記対策)	検定と同様に実技テスト (スキンケア～フルメイク、筆記試験) 苦手克服(苦手な部分を集中して練習)
8	成人式メイク	つけまつけの付け方と水化粧について学び実践
9	応用編メイクを学ぶ	本物式での使用することの多いボディメイクと水化粧・質感メイクを学ぶ
10	メイクの種類を学ぶ① カラーボリュームについて	プロポーション、パーツと印象の関係、プロポーションパーツ
11	メイクの種類を学ぶ② カラーボリュームについて	色とトーン、質感、カラーボリュームバランスイメージを理解する (SWEET/ROMANTIC)
12	メイクの種類を学ぶ③シーン別メイク	イメージに合わせたメイクを理解する (FEMININE/LUXURY) シーンに合わせたメイク…和装などにあうメイク
13	メイクの種類を学ぶ④シーン別メイク	イメージに合わせたメイクを理解する (POP/NATURAL) シーンに合わせたメイク…美しいベースメイク
14	メイクの種類を学ぶ⑤ケース別メイク	イメージに合わせたメイクを理解する (COOL/CASUAL) シーンに合わせたメイク…カラードレスに 合わせるメイク
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	アテンド実践 A		
必修選択	選択	(学則表記)	アテンド実践 A		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ブライダルヘアメイク＆ドレス科	1	30
使用教材	ブライダルコーディネーターテキスト スタンダード		出版社	BIA 公益社団法人日本ブライダル文化振興協会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	結婚式当日のアテンダー（介添）の知識、立ち振る舞い、と心得を修得することにより、結婚式当日の挙式の流れも理解する				
到達目標	授業を通して、衣装の取り扱いを理解し、ブライダルプロジェクト時(模擬挙式)に実践する				
評価基準	テスト(小テスト含む) 5 0 % 実技 3 0 % 授業態度 2 0 %				
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者				
関連資格	無				
関連科目	ドレスデザイン A ・ ブライダルプロジェクトⅠ A				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	佐久間 一栄		実務経験	○	
実務内容	ブライダルヘアメイク、ブライダルドレス＆アクセサリデザイナー兼プロデューサー、バイヤー、ブライダル業務全般（スタイリング）				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	自己紹介・導入 結婚式について アテンド（介添）について	結婚式の種類・アテンド（介添）について知る
2	当日のアテンド（介添） 業務について	新郎新婦様来館から挙式披露宴の介添えの動きを学ぶ
3	アテンド（介添）に 求められる要素	アテンド（介添）の位置づけを理解した上で、求められる要素を考える
4	アテンド（介添）について （説明）	挙式の流れ、アテンドの位置確認とアテンドの動き、ベール、ブーケ、手袋の扱い方 新郎新婦の立ち振る舞いについて（立ち方・歩き方・座り方） アテンダーの立ち振る舞いについて（立たせ方・座らせ方・持ち方・誘導の仕方）

5	アテンド（介添）について （説明）	和装のアテンドの仕方、新郎新婦の立ち振る舞いについて学ぶ
6	アテンド（介添）について （実践）	新郎新婦の立ち振る舞いの実践を行う
7	挙式のアテンド① （実践）	挙式の流れ通りにロールプレイングを行う
8	挙式のアテンド② （実践）	挙式の流れ通りにロールプレイングを行う
9	挙式のアテンド③ （実践・小テスト）	挙式アテンドの小テスト
10	挙式のアテンド④ （模擬挙式の練習）	ブライダルプロジェクトⅠAと連動し、模擬挙式のロールプレイングを行う
11	挙式のアテンド⑤ （模擬挙式の練習）	ブライダルプロジェクトⅠAと連動し、模擬挙式のロールプレイングを行う
12	挙式のアテンド⑥ （模擬挙式の練習）	ブライダルプロジェクトⅠAと連動し、模擬挙式のロールプレイングを行う
13	配慮が必要なお客様の対応	配慮が必要なお客様への知識（マタニティ、お子様連れ、足が不自由、高齢のお客様）を学び、対応方法を考える
14	前期試験	ここまで学んできた内容をアウトプットする
15	総合学習	振り返りまとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ドレスデザイン A		
必修選択	選択	(学則表記)	ドレスデザイン A		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	2	30
使用教材	The Business of Wedding Attire & Styling		出版社	全米ブライダルコンサルタント協会 (ABC 協会) 日本オフィス	

科目の基礎情報②

授業のねらい	衣装の知識を学び、検定を取得する		
到達目標	後期に受験する、全米ブライダルコンサルタント協会認定 ドレススタイリスト検定取得を目指す		
評価基準	テスト 70% 授業態度 30%		
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者		
関連資格	全米ブライダルコンサルタント協会認定 ドレススタイリスト検定		
関連科目	アテンド実践 A、ドレスデザイン B		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	添田 由紀	実務経験	○
実務内容	ドレスコーディネーター、オーダードレスサロン経営（デザイン、縫製、販売、レンタル）		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ドレスの構造とデザイン	歴史に見るウェディングドレスの移り変わりを学ぶ
2	ウェディングドレスの構造 ドレスに使用する主な素材	ウェディングドレスの構造、装飾、ドレスに使用する主な素材について学ぶ
3	ドレス各部のデザイン	シルエット別のデザインについて学ぶ ネック別ラインのデザインについて学ぶ
4	ドレス各部のデザイン	ネックライン別・スリーブ別・スカート別・スカートの長さ・カラードレス・二次会用ドレスについて学ぶ

5	ドレスフィッティング実習	前週に学んだ知識を活かしドレスフィッティングを実践する
6	ドレスフィッティング実習	ドレスフィッティングを実践する
7	ウェディングドレスに合わせる小物	ウェディングドレスに合わせる小物について学ぶ ブライダルインナー、ヘッド装飾の種類を学ぶ
8	ウェディングドレスに合わせる小物	アクセサリ、イヤリング、上着、シューズについて学ぶ
9	ドレスのサイズ展開と採寸・補正	日本、欧米のサイズ展開を学ぶ
10	ドレスのサイズ展開と採寸・補正	採寸とドレスのお直し(リフォーム)について学ぶ
11	男性の洋装	男性の洋装について学ぶ
12	男性の洋装	男性洋装小物、男性洋装のサイズ展開と採寸について学ぶ フィッティングも実施する
13	ヘアースタイルによる スタイリング効果 小テスト	ドレスシルエットとヘアスタイルのバランスを学ぶ
14	前期テスト	前期筆記テスト
15	総合学習	振り返りまとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ドレスデザイン B		
必修選択	選択	(学則表記)	ドレスデザイン B		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	2	30
使用教材	The Business of Wedding Attire & Styling		出版社	全米ブライダルコンサルタント協会 (ABC 協会) 日本オフィス	

科目の基礎情報②

授業のねらい	衣装の知識を学び、検定を取得する		
到達目標	全米ブライダルコンサルタント協会認定 ドレススタイリスト検定取得を目指す		
評価基準	テスト 70% 授業態度 30%		
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者		
関連資格	全米ブライダルコンサルタント協会認定 ドレススタイリスト検定		
関連科目	ドレスデザイン A、ブライダルプランナー検定 I（WP 科ハウスウェディングコース）		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	添田 由紀	実務経験	○
実務内容	ドレスコーディネーター、オーダードレスサロン経営（デザイン、縫製、販売、レンタル）		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	体型によるスタイリング効果	体型別のスタイリング方法を学ぶ
2	体型によるスタイリング効果	体型別のスタイリング方法を学ぶ
3	フィッティング実習	ドレス・タキシードのフィッティングを実践する
4	ブライダルパーティー 衣装店のビジネスと市場	ブライダルパーティーについて知る 衣装店のビジネスと市場・お客様動向について知る
5	和装衣装	新婦和装衣装について学ぶ

6	和装衣装	新婦和装衣装について学ぶ
7	和装衣装 列席者衣裳	新郎和装、列席者の衣装について説明する
8	衣装店のビジネスと市場について	衣装店のビジネスと市場・お客様動向について知る
9	衣装店のビジネスと市場について	衣装店のビジネスと市場・お客様動向、実務内容について知る
10	検定前対策 過去問題より	ドレススタイリスト検定対策問題
11	検定前対策 過去問題より	ドレススタイリスト検定対策問題
12	検定前対策 過去問題より	ドレススタイリスト検定対策問題
13	検定前対策 過去問題より	ドレススタイリスト検定対策問題
14	後期テスト	後期筆記テスト
15	総合学習	振り返りまとめを行う

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	花嫁着付けⅠA		
必修選択	選択	(学則表記)	花嫁着付けⅠA		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ブライダルヘアメイク＆ドレス科	2	45
使用教材	教本・花嫁テキスト・お太鼓枕・帯板・衿芯・伊達締め(2)・腰ベルト・腰ひも(4)・仮ひも(1)・和装スリップ(肌着)・クリップ(5)・足袋		出版社	桜花出版 KW	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	着付けに関する知識・技術を身につけると同時に花嫁着付けも習得し、 ブライダルの着付けに関わる全ての技術を身につける				
到達目標	・きもの着付け 3 級(6 月強制受験 免許免除)				
評価基準	検定試験：40％ テスト 30％ 授業態度：30％				
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者				
関連資格	一般社団法人日本きもの文化連絡協議会もしくは、 一般財団法人京都きもの伝承文化協会 きもの着付け資格				
関連科目	花嫁着付ⅠB(後期) 花嫁着付ⅡA・B(2 年)				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	伊藤 豊美 他 1 名		実務経験	○	
実務内容	結婚式着付、着付講師、成人・卒業式着付、着付ショー出演				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	着付け授業について	授業の流れ、授業ルールについて、教材小物の説明・記名、取得免許について、 考査票の記入、足袋サイズの確認
2	小紋の着せ方 1	補正について、長襦袢の着せ方、たたみ方
3	小紋の着せ方 2	小紋の着付け(裾合わせ)、着物のたたみ方
4	小紋の着せ方 3	小紋の着付け(衿合わせ)
5	小紋の着せ方 4	小紋の着付け(お端折の作り方)

6	小紋の着せ方 5	半幅帯について、小紋に蝶結び、小テスト(着物の名称)
7	小紋の着せ方 6	小紋に蝶結び 仕上げ
8	小紋の着せ方 7	小紋に蝶結び 仕上げ
9	3 級検定向上会	「向上会」検定試験の流れ
10	3 級検定試験	小紋の着付けと蝶結び(20 分)、たたみ方テスト
11	座学 1 浴衣の着方	着物の名称(プリント①)、漢字の読み方(プリント②) 浴衣の自装、試験結果通知
12	浴衣の着せ方	浴衣の他装、半幅帯バリエーション、男性浴衣の着せ方
13	小紋と名古屋帯 1	名古屋帯について、帯のセットの仕方、お太鼓結び
14	小紋と名古屋帯 2	普段着の着付け（紐使い）、小紋にお太鼓結び仕上げ
15	総合学習	振袖について、前期総まとめ（小物使いと紐使い） 期末テスト

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	花嫁着付けⅠB		
必修選択	選択	(学則表記)	花嫁着付けⅠB		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ブライダルヘアメイク＆ドレス科	2	45
使用教材	教本・花嫁テキスト・お太鼓枕・帯板・衿芯・伊達締め(2)・腰ベルト・腰ひも(4)・仮ひも(1)・和装スリップ(肌着)・クリップ(5)・足袋		出版社	桜花出版 KW	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	着付けに関する知識・技術を身につけると同時に花嫁着付けも習得し、 ブライダルの着付けに関わる全ての技術を身につける				
到達目標	・きもの着付け 2 級(12 月強制受験 免許強制)				
評価基準	検定試験：40％ テスト 30％ 授業態度：30％				
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者				
関連資格	一般社団法人日本きもの文化連絡協議会もしくは、 一般財団法人京都きもの伝承文化協会 きもの着付け資格				
関連科目	花嫁着付けⅠA(前期) 花嫁着付けⅡA・B(2 年)				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	伊藤 豊美 他 1 名		実務経験	○	
実務内容	結婚式着付、着付け講師、成人・卒業式着付、着付けショー出演				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	振袖の着せ方 1	後期授業の流れ 振袖の着付け(紐使い) 準備・たたみ方
2	振袖の着せ方 2	袋帯について、帯のセットの仕方、ふくら雀の結び方
3	振袖の着せ方 3	振袖にふくら雀
4	振袖の着せ方 4	振袖にふくら雀 仕上げ
5	振袖の着せ方 5	振袖にふくら雀 仕上げ

6	振袖の着せ方 6	振袖にふくら雀 仕上げ
7	振袖の着せ方 7	振袖にふくら雀 仕上げ
8	2 級検定向上会	「向上会」検定試験の流れ
9	2 級検定試験	振袖にふくら雀(30 分)
10	座学 2	「きものの TPO」(プリント③④)、試験結果通知
11	留袖の着せ方 1	留袖について、留袖の着付け、二重太鼓の結び方
12	留袖の着せ方 2	留袖の着付け、年齢別・体型別の着付け
13	留袖の着せ方 3	留袖の着付け 仕上げ
14	紋服の着せ方	紋服について 着せ方・たたみ方
15	総合学習	女袴について 着せ方・たたみ方 後期まとめ 期末テスト

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	ブライダルネイルⅠA		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルネイルⅠA		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ブライダルヘアメイク＆ドレス科	2	45
使用教材	テクニカルシステム、ネイル道具一式、アート用具一式ケア・カラー・アート用具一式、カラーポリッシュ、チップ等		出版社	日本ネイリスト協会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	ネイルの基礎知識と技術を身に付ける				
到達目標	ネイル道具やセッティング方法についてしっかり把握した状態で実習を行うことができる 検定に向け時間内に仕上げるができる				
評価基準	前期…筆記テスト 30% 実技テスト 30% 小テスト(筆記実技・課題提出も含む) 20% 授業態度 20%				
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者				
関連資格	公益財団法人日本ネイリスト検定試験センター J N E C ネイリスト技能検定 3 級				
関連科目	無				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	平川 恵子 他 1 名		実務経験	○	
実務内容	ネイル施術、接客、出張ネイル				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション テーブルセッティングについて	オリエンテーション（前期の流れとゴール設定、検定について） 教材チェック、テーブルセッティングのやり方について学ぶ（P70～72）
2	【座学】ネイルの歴史 【実技】ファイリング、カットスタイル	ネイルの歴史（P8～13） 【実技】手指消毒、ファイリング、 5 種類のカットスタイル（P76、85～91）
3	【座学】技術体系、 爪の構造と働き 【実技】ファイリング、クリーンナップ	技術体系（P14～15）を学ぶ爪の構造と働き（P16～19）、 【実技】ネイルケアのステップ、 ファイリング～クリーンナップ（P73～74、77～81）

4	【座学】 皮膚科学 【実技】 クリーンナップ	皮膚科学（P20～22）を学ぶ 【実技】 バッフィング、クリーンナップ
5	【座学】 消毒法 【実技】 クリーンナップ	消毒法（P38～45）を学ぶ 【実技】 クリーンナップ
6	【座学】 検定対策 【実技】 バッフィング、カラーリング	小テスト、検定対策 【実技】 バッフィング、カラーリング、ポリッシュオフ（P75、82～84）
7	【座学】 皮膚科学、検定対策 【実技】 アート	皮膚科学（P20～22）を学ぶ、小テスト、検定対策 【実技】 アート（P118～134）
8	【座学】 プロフェッショナリズム ～衛生基準 【実技】 3 級検定対策	【筆記・実技】 3 級検定対策
9	【座学】 爪の病気とトラブル 【実技】 3 級検定対策	【座学】 爪の病気とトラブル（P30～36）を学ぶ 【実技テスト】 検定内容で実技テストを行う（検定対策） 【筆記テスト】 ネイル検定の 3 級に合わせた内容で筆記テスト行う 【3 級検定対策】 何度も反復練習することで、施術時間の短縮と、施術のレベルアップを図る
10	【実技】 3 級検定対策	同上
11	【筆記】 テスト 【実技】 3 級検定対策	同上
12	【実技】 テスト	【実技テスト】 検定内容で実技テストを行う（検定対策） 【筆記テスト】 ネイル検定の 3 級に合わせた内容で筆記テスト行う 【3 級検定対策】
13	【実技】 テスト（予備日）	同上
14	3 級検定説明	3 級の検定試験について、要項、DVD などを使用して学ぶ
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	ブライダルネイルⅠB		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルネイルⅠB		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ブライダルヘアメイク＆ドレス科	2	45
使用教材	テクニカルシステム、ネイル道具一式、アート用具一式		出版社	日本ネイリスト協会	
	ケア・カラー・アート用具一式、カラーポリッシュ、チップ、ジェル道具一式				
科目の基礎情報②					
授業のねらい	ネイルの基礎技術・知識をマスターし、その先の応用技術を習得する				
到達目標	ネイル道具やセッティング方法についてしっかり把握した状態で実習を行うことができる 検定に向け時間内に仕上げるができる				
評価基準	後期…検定結果（3 級）50% 小テスト(筆記実技・課題提出も含む) 30% 授業態度 20%				
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者				
関連資格	公益財団法人日本ネイリスト検定試験センター J N E C ネイリスト技能検定				
関連科目	無				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	平川 恵子 他 1 名		実務経験	○	
実務内容	ネイル施術、接客、出張ネイル				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション 3 級検定説明 【実技】 3 級検定対策	オリエンテーション（後期の流れやゴールを確認） 検定要項を使用し、3 級検定について詳細を説明する 【実技】 3 級検定に向けタイムトライアル
2	【実技】 3 級検定対策	【実技】 3 級検定に向けタイムトライアル 何度も反復練習をすることで、施術時間の短縮とレベルアップを図る 【筆記対策】 過去問や小テストを使用しながら、筆記試験の対策を行う

3	同上	同上
4	【座学】 ジェルネイル基礎理論 【実技】 クリア、1 カラー、オフ	ジェル検定初級（時期、内容）について ジェルネイル基礎理論 【実技】 プリパレーション、クリア、1 カラー、オフ
5	【実技】 プレパレーション。1 カラー オフ復習	【実技】 プリパレーション、1 カラー、オフ
6	【実技】 ピーコック	【実技】 ピーコック（テクニカルシステム ジェル P96～99） 1 カラー～ピーコック
7	【実技】 ジェル検定初級	【実技】 初級に向けてタイムトライアル 何度も反復練習をすることで、施術時間の短縮とレベルアップを図る
8	同上	同上
9	【筆記】 小テスト 【実技】 ジェル検定初級	ジェル検定初級の筆記内容で筆記小テストを行う ～実技～ 初級に向けてタイムトライアル 何度も反復練習をすることで、施術時間の短縮とレベルアップを図る
10	【実技】 トレンドアート	流行のトレンドアートについて学ぶ
11	同上	同上
12	同上	同上
13	同上	同上
14	同上	同上
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	実技	科目名	ブライダルエステ A		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルエステ A		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ブライダルヘアメイク＆ドレス科	1	30
使用教材	クリエヌ化粧品（エステセット）、 ナースシューズ、実習着、大タオル、白タオル、コットン、消毒液		出版社	日本エステティック協会 美肌検 定、 新エステティック学技術編Ⅰ	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	エステティックの基礎を学ぶことで将来、お客様にエステサロンへ通う事の意義や重要性を伝える事を習得する				
到達目標	基礎になるブライダルエステができる				
評価基準	実技テスト 60%(30%×2 回) 筆記テスト 20%(10%×2 回) 授業態度(課題提出含む)20%				
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者				
関連資格	一般社団法人 日本エステティック協会 認定フェイシャル＆ボディエステティシャン、美肌検定				
関連科目	無				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	檜田 早苗		実務経験	○	
実務内容	エステティックサロン勤務し、エステティシャン・カウンセラー・アロマセラピストを担当				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション ブライダルエステティックとは	オリエンテーション □化粧品配布と取扱いについて □ブライダルエステの一連の流れについて
2	技術理論 使用方法と説明	□ブライダルエステティックとは(エステサロンの種類についても説明) □トリートメントの目的を学ぶ □ボディトリートメントの必要性 □事前準備(ベッドメイク.スチームタオルづくり)
3	皮膚理論① ボディトリートメント～① ホットタオル拭取り	ボディトリートメント導入・デモ 腰背部～二の腕 軽擦法～強擦法・揉撫法・打法・振動法 圧迫法～軽擦法

4	皮膚理論② ボディトリートメント～② ホットタオル拭取り	同上
5	皮膚理論③ ボディトリートメント～③ ホットタオル拭取り	同上
6	皮膚理論④ ボディトリートメント～④ ホットタオル拭取り	同上
7	筆記テスト① 実技テスト①	筆記テスト：皮膚理論について 実技テスト：ご案内～ボディトリートメントホットタオル～仕上げ
8	腰背部ディープクレンジング①(ピーリング) 腰背部パック①	☐ デモンストレーションより学び実践 ・手技・拭き取り
9	腰背部ディープクレンジング②(ピーリング) 腰背部パック②	☐ デモンストレーションより学び実践 ・手技・拭き取り
10	アロマとは (精油の基礎知識を学ぶ) デコルテ① (アロマトリートメント・パック)	精油について 精油が心身に作用する経路を知る デコルテ：デモンストレーション・手技・拭き取りについて学ぶ
11	アロマとは (アロマセラピーの利用法) デコルテ② (アロマトリートメント・パック)	香りのイメージを学ぶ 精油の使用法、安全の為の注意 デコルテ：デモンストレーション・手技・拭き取りについて学ぶ
12	アロマとは (アロマセラピーの利用法) デコルテ③ (アロマトリートメント・パック)	デコルテ復習
13	筆記テスト② 実技テスト②	筆記テスト：アロマについて・デコルテについて 実技テスト：腰背部のディープクレンジング・デコルテ
14	総合学習	前期で学んだ範囲のトータル技術を行う(各校で復習を入れる)
15	総合学習	前期で学んだ範囲のトータル技術を行う(各校で復習を入れる)

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	ブライダルエステ B		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルエステ B		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	1	30
使用教材	クリエース化粧品（エステセット）、 ナースシューズ、実習着、大タオル、白タオル、コットン、消毒液			出版社	日本エステティック協会 美肌検 定、 新エステティック学技術編 I

科目の基礎情報②

授業のねらい	エステティックの基礎を学ぶことで将来、お客様にエステサロンへ通う事の意義や重要性を伝える事を習得する		
到達目標	基礎になるブライダルエステができる		
評価基準	実技テスト 60%(30%×2 回) 筆記テスト 20%(10%×2 回) 授業態度(課題提出含む)20%		
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者		
関連資格	一般社団法人 日本エステティック協会 認定フェイシャル&ボディエステティシャン、美肌検定		
関連科目	無		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	樫田 早苗	実務経験	○
実務内容	エステティックサロン勤務し、エステティシャン・カウンセラー・アロマセラピストを担当		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション フェイシャル技術理論 フェイシャルケアの流れ	オリエンテーション フェイシャルについて「トリートメントの目的」 フェイシャルケアの流れ・フェイシャルセッティング・ターバンの巻き方
2	ポイントクレンジング～ 全体のクレンジング	ポイントクレンジング・全体クレンジング・コットン拭き取り・ホットタオル拭き取り/手技について学ぶ ホットタオル拭き取りのための準備や方法を学ぶ
3	クレンジング～ コットン・コットン拭き取り ホットタオルふき取り	ポイントクレンジング/全体クレンジング・コットン拭き取り/手技について学ぶ ホットタオル拭き取りのための準備や方法を学ぶ
4	フェイシャルトリートメント～ふ き取り～仕上げ①	肌理論① マッサージ・ホットタオル拭き取り～仕上げを行う①

5	フェイシャルトリートメント～ふき取り～仕上げ②	肌理論② マッサージ・ホットタオル拭き取り～仕上げを行う②
6	クレンジング～ フェイシャルトリートメント～ふき取り～仕上げ①	肌理論③ クレンジングからホットタオル拭き取り～フェイシャルトリートメント～ふき取り～仕上げ①
7	クレンジング～ フェイシャルトリートメント～ふき取り～仕上げ②	肌理論④ クレンジングからホットタオル拭き取り～フェイシャルトリートメント～ふき取り～仕上げ②
8	筆記テスト① 実技テスト①	筆記テスト：クレンジングからフェイシャルトリートメントについての理論 実技テスト：クレンジングからフェイシャルマッサージ
9	肌診断 ディープクレンジング①ピーリング フェイシャルパック	☐ デモンストレーションより学び実践 ・手技 ・拭き取り
10	肌診断 ディープクレンジング①ピーリング フェイシャルパック	☐ 前回の復習・実践 ・手技 ・拭き取り ☐ 小テスト(フェイシャルパックもしくはディープクレンジングのテスト)
11	総まとめ(トータルケア)	肌診断～ディープクレンジング(ピーリング)～フェイシャルマッサージ～デコルテマッサージ～パック(顔・デコルテ)
12	総まとめ(トータルケア)	肌診断～ディープクレンジング(ピーリング)～フェイシャルマッサージ～デコルテマッサージ～パック(顔・デコルテ)
13	筆記テスト② 実技テスト②	筆記テスト：ディープクレンジング・パックについて 実技テスト：まとめテスト(肌診断～ディープクレンジング(ピーリング)～フェイシャルマッサージ～デコルテマッサージ～パック(顔・デコルテ))
14	痩身	ボディトリートメント導入・デモ・下肢後面(レッグ&フットケア含む)・拭き取りについて学ぶ
15	総合学習	前期で学んだ範囲のトータル技術を行う(各校で復習を入れる)

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	フラワーアレンジ		
必修選択	選択	(学則表記)	フラワーアレンジ		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	2	45
使用教材	花と遊ぶ・花を学ぶフラワーデザイン入門		出版社	講談社	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	ウェディングに人気の花の種類・値段・ブーケ・装花のスタイルと作成技術を習得する				
到達目標	ブライダルフラワーアレンジメント資格を取得する。 ブライダル装花の種類を理解し、様々なスタイルが作成できる。				
評価基準	テスト 30％・授業態度 30％・検定合格 40％				
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者				
関連資格	ブライダルフラワーアレンジメント				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	伊東 みゆき 他 1 名		実務経験	○	
実務内容	フラワーコーディネーターとして勤務。フラワーイベント企画、参加ウェディングショーブーケ協賛。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	・フラワーデザインについて ・リボン作成	・フラワーデザインやウェディングフラワーについて学ぶ ・リボンの作り方を学び、実践する
2	コサージュ・ブートニア	ワイヤリング、テーピング方法を学び、コサージュ作成を行う
3	花束・ラッピング	ラッピングの必要性、保水方法を学び、花束作成を行う
4	ゲストテーブル①（ドーム型）	ゲストテーブルのアレンジメントの種類を学び、ドーム型アレンジメント作成を行う
5	ラウンドブーケ①	ドレスとの相性やトレンドを学び、ラウンドブーケ作成を行う

6	ゲストテーブル②（水平型）	テーブルの形をテーブルアレンジの関係を学び、水平型アレンジメント作成を行う
7	メインテーブル	水平型を生かし、メインテーブル製作をグループで作成する
8	いろいろなアレンジ	ブライダルフラワーのバリエーションを学び、ギフト用バスケットアレンジを作成する
9	カスケードブーケ	ラウンドブーケの作り方を応用し、カスケードブーケを作成する
10	テスト	テスト
11	トライアングラー	三角形の作り方を学び、トライアングラー型アレンジを作成する
12	フローラルアクセサリ	ウェディングにおけるフローラルアクセサリの種類を学び、作成する
13	ラウンドブーケ②	ブーケホルダーを用いたラウンドブーケ作成
14	ブライダル装花	グループでテーマを決め、イメージに合わせたアレンジを作成する
15	総合授業	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ブライダルプロジェクト I A		
必修選択	必修	(学則表記)	ブライダルプロジェクト I A		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	1	30
使用教材				出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	日頃の授業のアウトプットとして人前式の企画・施行の全てを行うことができる。				
到達目標	挙式の一連の流れを理解する。 各役割で連携を取り、模擬挙式を作ることが出来る。				
評価基準	授業態度 4 0 % ・ 制作物 4 0 % ・ 振り返り 2 0 %				
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者				
関連資格					
関連科目	アテンド実践 A				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	渡辺 実香子 他 2 名			実務経験	○
実務内容	ウェディングプランナー				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	概要の把握	模擬挙式概要を把握する 当日までのスケジュール、各セクションについて理解する
2	目標・テーマ・各セクション決定	目標立て・模擬挙式のテーマ決め・各セクションメンバーを決める
3	スケジュール・予算立て、デッサンシート作成	チームごとに準備スケジュール立て・チーム費の使い方説明・予算立てを行う
4	各セクション制作①	各セクションごとに準備を進める
5	各セクション制作②	同上
6	各セクション制作③	同上

7	各セッション制作④	各セッションごとに準備を進める
8	紙上リハーサル	完成した進行表をもとに紙上リハーサルを行う
9	挙式リハーサル①	挙式リハーサル①を行う（各セッション、動きの確認）
10	挙式リハーサル②	挙式リハーサル②を行う（各セッション、動きの確認）
11	挙式リハーサル③	挙式リハーサル③を行う（各セッション、動きの確認）
12	全体リハーサル①	全体リハーサル①を行う（受付～誘導～挙式～お見送り）
13	全体リハーサル②	全体リハーサル②を行う（受付～誘導～挙式～お見送り・タイム取り）
14	振り返り	模擬挙式の振り返りを記入
15	総まとめ	振り返りの返却・総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ブライダルプロジェクト I B		
必修選択	必修	(学則表記)	ブライダルプロジェクト I B		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	1	30
使用教材				出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	・ブライダル業界を担う人材として業界の課題を見つけ、改善するための企画力と再現力を身につける ・業界で求められるニーズを把握し、再現するためのコーディネート力を習得する				
到達目標	・ブライダル業界の課題に対する改善策を考え、プレゼンテーション出来る ・これまで学んだ技術を生かし、花嫁の全身コーディネートを創りあげる				
評価基準	校内選考企業評価 5 0 % ・ グループレポート 3 0 % ・ 授業態度 2 0 %				
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	渡辺 実香子 他 2 名			実務経験	○
実務内容	ウェディングプランナー				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	後期行事について	ブライダルコンペティションについて概要を把握する 企業様によるブライダル業界についての講話を聞く
2	成績評価について	成績評価に加わるレポートについて把握する 全国コンペティションの映像を鑑賞する
3	チーム分け	チーム分けの発表 チームごとに内容を検討する
4	内容検討	チームごとに内容を検討する グループレポートを記入する
5	プレゼンテーション準備	チームごとにプレゼンテーション、制作準備を進める
6	プレゼンテーション準備	チームごとにプレゼンテーション、制作準備を進める

7	プレゼンテーション準備	チームごとにプレゼンテーション、制作準備を進める
8	プレゼンテーション準備	チームごとにプレゼンテーション、制作準備を進める
9	プレゼンテーション準備	チームごとにプレゼンテーション、制作準備を進める
10	リハーサル	リハーサルを行う
11	リハーサル	リハーサルを行う
12	リハーサル	リハーサルを行う
13	本番	コンペティション本番 (授業外での開催の可能性もあり)
14	振り返り	コンペティション振り返りを実施する
15	総まとめ	後期総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	未来デザインプログラム A		
必修選択	必修	(学則表記)	未来デザインプログラム A		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	1	15
使用教材	7つの習慣Jテキスト 夢のスケッチブック (WEB アプリ)			出版社	FCE エデュケーション

科目の基礎情報②

授業のねらい	7つの習慣を体系的に学ぶことを通じ、三幸学園の教育理念である「技能と心の調和」のうち「心」の部分をも身につける。				
到達目標	・7つの習慣について、自身の言葉で説明することができる。 ・7つの習慣を自らの生活と紐づけ、前向きな学習態度として体現することができる。				
評価基準	テスト：20% 授業態度：40% 提出物：40%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	圃田 靖子 他2名			実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	専門学校へようこそ！	「未来デザインプログラム」とは何か学ぶ 夢のスケッチブックの使い方を学ぶ
2	SANKO ワークコンピテンス	SANKO ワークコンピテンスの理解を深める
3	7つの習慣とは？	7つの習慣とは何か学ぶ 夢のスケッチブックを使って日誌を書くことの意味を学ぶ
4	自分制限パラダイムを解除しよう！	自分制限パラダイムの意味について学ぶ
5	自信貯金箱	自信貯金箱の概念を理解する 自分自身との約束を守る大切さを学ぶ

6	刺激と反応	「刺激と反応」の考え方を理解する 主体的に判断・行動していくことの大切さを学ぶ
7	言霊 ～ことだま～	言葉の持つ力や自分の言動が、描く未来や成功に繋がっていくことを学ぶ
8	影響の輪	集中すべき事、集中すべきでない事を明確にすることの大切さを学ぶ
9	選んだ道と選ばなかった道	自分が決めたことに対して、最後までやり遂げる大切さを学ぶ
10	人生のビジョン	入学時に考えた「卒業後の姿」をより具体的に考え、イメージする
11	大切なこととは？	なりたい自分になるために優先すべき「大切なこと」には、夢の実現や目標達成に直接関係することだけではなく、間接的に必要なこともあることを学ぶ
12	一番大切なことを優先する	スケジュールの立て方を学ぶ 自らが決意したことを実際の行動に移すことの大切さを学ぶ
13	時間管理のマトリクス	第2領域（緊急性はないが重要なこと）を優先したスケジュール管理について学ぶ
14	私的成功の振り返り	前期授業内容（私的成功）の振り返りを行う
15	リーダーシップを発揮する	リーダーシップを発揮するためには、「主体性」が問われることを学ぶ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	未来デザインプログラム B		
必修選択	必修	(学則表記)	未来デザインプログラム B		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	1	15
使用教材	7つの習慣Jテキスト 夢のスケッチブック (WEB アプリ)			出版社	FCE エデュケーション

科目の基礎情報②

授業のねらい	7つの習慣を体系的に学ぶことを通じ、三幸学園の教育理念である「技能と心の調和」のうち「心」の部分をも身につける。				
到達目標	・7つの習慣について、自身の言葉で説明することができる。 ・7つの習慣を自らの生活と紐づけ、前向きな学習態度として体現することができる。				
評価基準	テスト：20% 授業態度：40% 提出物：40%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	圃田 靖子 他2名			実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	信頼貯金箱	信頼貯金箱の概念を理解し、周囲から信頼されるための考え方を学ぶ
2	割れた窓の理論	規則を守る大切さ、重要性を理解する
3	Win-Win を考える	お互いがハッピーになれる方法を考えることの大切さを学ぶ
4	豊かさマインド	人を思いやることは自分自身のためでもあることを学ぶ
5	理解してから理解される	人の話の聴き方を考え、「理解してから理解される」という考え方があるということを知る

6	相乗効果を発揮する	人と違いがあることに価値があることを学ぶ
7	自分を磨く	自分を磨くことの大切さ、学び続けることの大切さを考える
8	未来は大きく変えられる	人生は選択の連続であり、未来は自分の選択次第であることを学ぶ
9	人生ビジョンを見直そう	将来のなりたい姿を描き、同時にその生活の実現にはお金が必要であることを学ぶ 現実的なライフプランの大切さを理解する
10	未来マップを作ろう①	未来の自分の姿（仕事、家庭、趣味など）を写真や絵で表現するマップを作成し、将来の夢を実現するモチベーションを高める
11	未来マップを作ろう②	未来マップの発表を通して、自身の夢を実現する決意をする
12	感謝の心	人間関係構築/向上の基本である感謝の心について考える
13	7つの習慣授業の復習	7つの習慣の関連性を学ぶとともに、私的成功が公的成功に先立つことを理解する
14	未来デザインプログラムの振り返り	7つの習慣など、未来デザインプログラムで学んだことを復習（知識確認）する
15	2年生に向けて	1年後の自分の姿を鮮明にし、次年度への目標設定を考える

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	キャリアデザイン I A		
必修選択	選択	(学則表記)	キャリアデザイン I A		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	2	30
使用教材	キャリアサポート B O O K			出版社	なし

科目の基礎情報②

授業のねらい	就職の心構えや企業のエントリー方法を知る。 面接や内定後までの流れを知る。				
到達目標	就職活動の流れを理解する。 魅力的な履歴書の書き方を習得する。 面接方法が実践できる。				
評価基準	授業態度 3 0 % ・ 提出物 4 0 % ・ 面接 3 0 %				
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	キャリアデザイン I B				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	渡辺 実香子 他 1 名			実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	就職活動について	2 年間の就職活動の流れを把握する
2	ブライダル業界の仕事について	ブライダル業界の職業・職種について調べ把握する
3	ブライダル関連企業について	ブライダル企業について調べ把握する
4	自己分析①	自己分析方法を学び、実際に自己分析を行う
5	自己分析②	自己分析方法を学び、実際に自己分析を行う

6	自己PR①	自己PRの書き方を学び、作成する
7	自己PR②	自己PRの書き方を学び、作成する
8	履歴書について①	履歴書を作成する
9	履歴書について②	履歴書を作成する
10	身だしなみについて①	就職活動における身だしなみを理解する
11	身だしなみについて②	就職活動における身だしなみを理解する
12	面接対策	面接の流れ、面接の種類、ポイントを学ぶ
13	面接練習①	模擬面接を実施する
14	面接練習②	模擬面接を実施する
15	総合授業	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	キャリアデザイン I B		
必修選択	選択	(学則表記)	キャリアデザイン I B		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	2	30
使用教材	キャリアサポート BOOK		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	就職の心構えや企業のエントリー方法を知る。 面接や内定後までの流れを知る。		
到達目標	就職活動の流れを理解する。 魅力的な応募書類の書き方を習得する。 面接方法が実践できる。		
評価基準	授業態度 3 0 % ・ 提出物 4 0 % ・ 面接 3 0 %		
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者		
関連資格	なし		
関連科目	キャリアデザインⅠA		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	渡辺 実香子 他 1 名	実務経験	
実務内容			

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	就職活動のスケジュール 就職希望調査	・ 今後の就職活動の流れを把握する ・ アンケートの実施
2	就職先について	就職先業種や種類について理解する 就職情報サイトの活用方法を知る
3	就職活動のルールについて	就職活動のルールや各種届、証明書発行について把握する
4	就職活動の履歴書について	就職活動における履歴書について学ぶ
5	志望動機・自己 PR①	志望動機・自己 PR の書き方について学ぶ

6	志望動機・自己 PR②	志望動機・自己 PR の書き方について学ぶ
7	ES の書き方	ES の書き方について学ぶ
8	書類系の最終確認	自己 PR、志望動機最終確認（履歴書を完璧に）
9	企業説明会について	企業説明会の申し込み方法・マナーを学ぶ
10	S P I ・一般常識対策	S P I ・一般常識の問題を解き、実力をつける
11	面接指導①	面接の重要性を把握し、入退室の流れから質問の受け答えまでを学ぶ
12	面接指導②	面接練習
13	面接指導③	面接練習、GD とはどんな選考になるのかを学ぶ→実践練習
14	面接指導④	面接練習
15	総合授業	総まとめ

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	実習	科目名	インターンシップⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	インターンシップⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ブライダルヘアメイク＆ドレス科	2	60
使用教材	なし			出版社	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	ブライダルスタッフとして必要な社会人基礎力を身に付ける				
到達目標	社会人として必要な基礎スキルが身に付いている 相手の立場に立った物の考え方ができる 社会へ出てから必要な言葉遣いや接客マナーを実践できる				
評価基準	企業側評価 75 点（評価表にて採点）、学校評価 25 点（レポート）				
認定条件	出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者				
関連資格	なし				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	圃田 靖子			実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります